

株式会社 松屋 2018年7月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-1.9	0.9
② 銀座店	-1.6	1.5
③ 浅草店	-5.6	-0.3

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
銀座本店	10.0	13.5	8.1	11.4	2.9	1.3	12.3	5.3	9.0	9.4	17.7	-1.9
松屋銀座	11.0	14.2	8.7	12.3	3.1	1.4	13.1	5.3	11.2	10.4	19.7	-1.6
松屋浅草	-0.8	4.0	-0.9	1.8	0.5	0.3	-0.2	4.7	-17.0	-2.4	-2.7	-5.6

3. 店舗別商況

銀座店	7月は、前年との比較で ①クリアランスセール開始日のズレ ②土曜日1日減(▲1.9%の影響) ③下旬週末の台風(▲0.9%の影響)④前年の大口計上の売上差異(ラグジュアリーブランドの限定コラボレーション商品売上 ▲4.4%の影響)等の諸条件が要因となり、売上高は前年に僅かに届きませんでした。サングラスを筆頭とした盛夏好適商材の好調な売上推移、また、文化催事『羽海野チカの世界展～ハチミツとライオンと～』の賑わいも加勢し、厳しい暑さの中においても、店全体は活況を呈しました(入店客数は、前年に対し1.5%増)。免税売上高につきましては、化粧品が全体を牽引し、引き続き好調に推移しております(免税売上高が店全体に占める割合は、約1/4程度)。
浅草店	洋菓子、化粧品が好調でしたが、隅田川花火大会が台風により順延する等が要因となり、売上高は全体で前年に届きませんでした。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-13.3	-13.3
婦人服・洋品	-7.9	-7.4
子供服・洋品	-11.0	-11.0
呉服寝具他	-22.8	-22.8
衣料品計	-9.9	-9.6
身廻り品	-7.4	-7.6
雑貨	11.7	11.7
家具	1.1	1.4
家電	-27.1	-26.9
家庭用品	-4.1	-4.2
家庭用品計	-2.1	-1.9
食料品	-1.4	0.3
食堂・喫茶	1.1	1.1
サービス、その他	83.9	92.2
合計	-1.9	-1.6

商品別概況(銀座店)

*クリアランスセールが、6月末から始まったことにより衣料品等の一部の売上高が前年に届きませんでした。
 *化粧品は、引き続き国内外のお客様のお買上げが好調に推移しており、売上高は前年に対し二桁増となりました。
 *サングラス・傘等の盛夏好適商材が、売上を大幅に伸ばしました。